



アース・エコ

子どもたちと地球の未来のために

アース・エコ
メールマガジン No.2-1
2011 年 4 月 5 日(清明)
特定非営利活動法人
アース・エコ事務局 発行

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にあす・エコの活動をお知らせするため、月2回メールマガジンをお届けしています。

新年度が始まり、メルマガも2年目のスタートです。桜も少しずつ咲き始めましたが、被災者のことを思うと春を楽しむには程遠い気分です。新年度の計画は不透明なところがありますが、引き続きご支援をお願いします。

原発事故と地球温暖化対策

東日本大震災の被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りします。

福島第一原発の事故。「絶対安全」だった筈の技術も千年に一度の自然災害の前には無力であることを改めて思い知らされます。「想定外の事故」から次々と発覚する新たな事態への対応に追われ、一向に終息への見通しが立たず、長期化に不安がつります。

「オバマ大統領はエネルギー安全保障について演説し、大気中の二酸化炭素を増やすことなく電力を作る能力があるとして、原発推進の考えを表明した。」と伝えられます。しかし温暖化対策＝原発推進とは限りません。

日本は2020年までに温室効果ガスを25%削減する

としていますが、「福島原発の事故を受け、南川環境事務次官は、『25%という数字も議論の対象になる』と述べた。」とも伝えられます。

「2050年までに世界の二酸化炭素排出量を半減」を達成するため、バックキャストで出された2020年25%削減の目標。原発はその達成手段の一つのはず。この発言は目標と手段を混同しているように思います。地震とは異なりますが、温暖化が進むと人類が経験したことのない「未曾有」の自然災害のリスクが高まります。

電力使用制限が予想される今年の夏、節電、省エネルギーとともに、地球温暖化についてもしっかりと子どもたちに語りかける必要があると考えます。 [文責:桑原]

平成22年度の出前授業の二酸化炭素収支

アース・エコは、活動の成果を評価する尺度のひとつとして、出前授業を実施したことによるCO₂排出抑制効果と、出前授業実施に伴うCO₂排出量の収支を推定しています。平成22年度に実施した出前授業について、概要を報告します。



平成22年度は、横浜市「省エネ実践学校出前講座」で横浜市内5校、神奈川県「新エネ・省エネ学校派遣事

業」出前授業で神奈川県内2校の合計7校で、小学生4、5年生児童580名を対象に出前授業を実施しました。

出前授業は約1ヶ月、間をあけて2日実施しています。1日目授業で「省エネチェックシート」の11項目について日頃どのくらい省エネを実践しているかをチェックし、実践できていない省エネ項目の中から1項目を「省エネチャレンジ目標」に選んでもらい、2日目授業までの約1ヵ月間、この目標にチャレンジし、実践できたかどうか

「省エネチェックシート」11項目⇒



省エネチェックシートに記入する児童

- ① 冬は20度、夏は28度をめやすに暖房や冷房の温度を設定している。
- ② 人のいない部屋のあかり(照明)はこまめに消している。
- ③ 昼間、窓側の明るいところのあかり(照明)は消している。
- ④ 誰もテレビを見ていないときは、テレビをこまめに消している。
- ⑤ 電気製品は、使わないときはコンセントからプラグをぬいている。
- ⑥ 歯をみがくときにはコップを使うなど、水を流しっぱなしにしない。
- ⑦ お風呂は、間をあげずに入るようにしている。
- ⑧ シャワーのお湯は、使わないときは流しっぱなしにしないで止めている。
- ⑨ 水道の水を出すときは、鉛筆の太さまでになっている。
- ⑩ 食事は、食べ残しをしないようにしている。
- ⑪ 参考 買い物にはマイバッグを持っていき、レジ袋はもらわない。

かを毎日記録してもらいます。2 日目授業でも同じように「省エネチェックシート」をチェックしてもらいます。

両方の「省エネチェックシート」を集計すると、実践できている割合の平均は 1 日目 62%から 2 日目 70%に 8%上がったことが分かりました。各小学校で「省エネチャレンジ」を実施した日数は平均 35 日で、この期間だけでも CO₂ 排出削減量は 1,055 kg-CO₂ と推定されます。

一方、小学校 7 校の出前授業を実施するために、交通機関や電気、紙などを使ったことによる CO₂ 排出量は 245 kg-CO₂ と推定されます。

平成 22 年度の CO₂ 排出量収支を以下に示します。排出削減量から排出量を差し引いた収支は 810 kg-CO₂ と推定されます。省エネ実践が定着・習慣化され、この削減効果が 1 年間継続したと仮定すると 11.6 t-CO₂ の排出削減に相当します。出前授業の効果は単に CO₂ 排出量の側面だけでは評価できませんが、大きな成果があったと考えます。

詳細については近日中にホームページに掲載を予定

していますのでご覧ください。

小学校 7 校	H22 年度
省エネ実践による削減量	1,055
出前講座実施に伴う排出量	245
排出量収支(削減量)	810

単位 kg-CO₂



アース・エコは、平成 21 年度にも横浜市内の小学校 5 校で出前授業を実施しました。平成 22 年度に実施した横浜市内の小学校 5 校について集計した結果との対比を示します。

横浜市内の小学校 5 校	H21 年度	H22 年度
省エネ実践による削減量	398	854
出前講座実施に伴う排出量	149	147
排出量収支(削減量)	249	707

単位 kg-CO₂

平成 21 年度の報告書は以下をご覧ください。

<http://eartheco.web.infoseek.co.jp/reports.html>

◆お知らせ◆ これからの活動予定

現在のところ、平成 23 年度の活動は未定です。決まり次第お知らせします。

4 月の例会・勉強会 4 月 13 日(水) 13:30-16:00 かながわ県民センター710 会議室で開催します。会員の

皆様のご参加をお待ちしています。



会員外の皆さんの見学も歓迎します。見学希望の方は事前にメールで事務局までお問い合わせください。

アース・エコでは環境教育にボランティアとして参加いただける会員を募集中です。

お問い合わせ、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡はこちらまで npo_earth_eco@yahoogroups.jp

メルマガのバックナンバーはこちらから http://eartheco.web.infoseek.co.jp/mail_magazine.html

ホームページ <http://eartheco.web.infoseek.co.jp/>

アース・エコ

検索